

2021.9.22

なぞのア段

古文の授業での出来事。

現代仮名遣いに直す問題はド定番なので、しっかり覚えてもらおうと

時間をとって説明しました。

言っても基本は学習しているはず、と復習がてらに問題を出してみても

驚愕の事実が判明しました。

まず、「かう」の読み方。

半分以上の生徒が

「読めません」

よし、わかった。

ア段の下に「う」がつくと、オ段に読み方が変わるんだよ。

か→こ、だね。

すると、生徒の一人が

「難しい」

とつぶやきました。

え、何が？

まだ、初手の初手、

ここでつまずくとは思っていませんでした。

「ア段って何ですか」

・・・おい!!

すると、別の生徒が

「あ、い、う、・・・」

ちょっと待て。

それは「ア行」だ!!

「ア段」を知らない。

あれ、おかしいな、目から水滴が・・・

おばあちゃん、元気にしているかな・・・

あ、まずい、遠くを見てしまった。

はい、気を取り直して、みんなで言ってみましょう。

「あ、か、さ、た、な・・・」

ここは幼稚園か!!

